



このコーナーでは、HTML、CSS のことならなんでもおまかせの「マリー」と、うさぎ界 No.1 とも言われているデザイナー「ナムー」が、ページ作成のコツを解説しています。少し技術的な内容も含まれますが、分からないことは検索して調べ、1つ1つスキルアップをしていきましょう。



マリー

HTML、CSS のプロフェッショナル。うさぎだけど好きなブラウザは Fire Fox。



ナムー

うさぎ界を知り尽くした凄腕デザイナー。うさぎだけど好きな野菜はセロリ。



「プロが作ったみたいなきれいなページにできないなあ…。どこが悪いんだろう」



「うーん、ナムー、このページはどう思う？」



「**色の使い方**を変えるだけでもまったく違ったものになりそうだね」



「色の使い方？ ちゃんとかっこよくなるように使っているつもりだけどなあ」



「【かっこいい】じゃなくて、【見やすくて、売れる】【商品の良さをより訴求できる】**色の使い方**をすれば、プロっぽくなるよ！」

以下の2つの写真で、より美味しそうに見えるのはどちらでしょうか？

<1>



<2>



<1>の方が美味しそうだと答える方がほとんどでしょう。

赤は食欲を増進させ、青は減退させる色とされています。赤味を減らした

<2>の写真はなんとなく冷たい感じ、火が通ってない感じがします。

次の写真例を見てみましょう。どちらがより美味しそうに見えるでしょうか。

<3>



<4>



<3>の方がみずみずしく見えて、美味しそうです。食品に青色が絶対ダメ！

というわけではありません。効果的に使えば商品を引き立てます。冷たさ、水々

しさの表現に青が必要です。青味が少ない<4>の野菜はしなびて見えます。

さらにケーススタディを続けます。

＜ケーススタディ＞ どちらが身体に良さそう？



上は「黒（不安）×紫（病気）」、下は「白（清潔）×緑（治癒）」という印象を与えます。

＜ケーススタディ＞ どちらが涼しそう？



文字色が同じでも背景色が違えばイメージも変わります。特に面積が大きい色（この場合は背景色）が印象を左右します。

次に、ショップ全体の良い配色例を見てみましょう。



メインで使う色は3つ程度に抑えましょう。多くの色を使い過ぎると、ごちゃごちゃした感じが出てしまい、サイト全体が安っぽくなってしまいます。虹のようにカラフルにたくさんの色を使うことは上級者向けです。

<ワンポイントアドバイス>

- ・ ベースカラー（面積が多い場所の色）で印象は決まる
- ・ 同系色を使うとまとまりが出る
- ・ 強い色を使うときは、面積が小さいほど効果的

前ページ事例「うさぎの快適家具屋さん」の配色

こんなお店にしたいな
・ちょっとレトロ
・ぬくもりのある雰囲気
・ちょっとだけ高級感
・親しみやすい感じ
で色を選んでみたよ

レイアウト部分の配色

ベースカラー（基調色）
一番面積の多い色



アソートカラー
二番目に面積の多い色

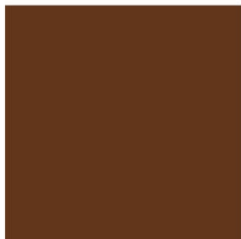


アクセントカラー
目立たせたい部分の色



テキスト要素の配色

テキストカラー



注目させたい部分



カテゴリ、リンクカラー



「次は、駄目なカラーパターンから、良いカラーパターンに変える実
例を紹介するよ！」

■ 牛丸コロホルモンの事例

【1】



<NG> 青の面積が多すぎて「焼肉」の感じがしない。

<NG> タイトル部分は赤と青がぶつかって目立たなくなっている。

<NG> 青×白の組み合わせは、ひんやりとした爽やかな印象。焼肉とは合わない。

【2】



ベースを清潔感ある白に変更。

写真の周りにオレンジの線をつけて強調。

暖色で色を統一して、清潔で明るい印象に。

【3】



背景にぬくもりのある茶色、木のイメージを使い、テキストを焦げ茶色にして「焼いている」感を演出。

さらに送料無料などの情報も可視化してアピール度アップ！

■ 豆乳おからクッキーの事例

【1】



<NG> 目立たそうとしたあまり、統一感がなくバラバラな印象に。

<NG> ボタンは何が書いてあるのか読みにくい。

【2】



<NG> 配色を逆にした場合。背景色のピンクが強すぎて印象が変わっている。

<NG> 文章が読みにくい。

【3】



優しいピンクで統一、まとまりのある印象に。

強い色は目立たせたい場所、タイトルとキャッチに。

左下ワンポイントの飾りはあくまでさりげなく。あくまで主役は商品。

8000円以上 **送料無料**

売れてます!! **人気商品**

すぐにお届け! **即日発送**

季節のオススメ **夏の定番**

新鮮をお届け **クール便**

まとめ買いで **超おトク**

こんなところでも配色が生きます！

「送料無料」「人気商品」「即日発送」などのポイントも大

事な商品のアピールポイントです。

人気ならピンク、ひんやり商品なら水色、クール便なら青、

エコ商品やお得な商品なら緑など、それぞれに合った色を

選ぶと効果的です。



「配色の大切さは分かったかな。一度、**配色のパターン**をマスターす

れば、**ずっと使い続けられる**から”あまり考えずに適当にやる”ではな

くて、まずは一度しっかりと考えながら配色をしてみようね！」



「でも、僕のサイトの場合は、どんな配色にすればいいのかなあ？」



「カテゴリ別に配色パターンを解説するね！ 活用してね！」

<各カテゴリおすすめのポイントカラー>

商品の特性、使用目的などによって合う色は変わります。どんなシーンでその商品は使われるのか、商品自体の色は何色なのかも考えながら組み合わせましょう。

※色例の隣の「#e10022」などの表記は CSS のカラーコードです

▼ フード・ドリンク



暖色は食欲を増進させる色。清潔さを表す白や、穀物のベージュなど
とよく合います。



▼ ブランド



ブランドは落ち着いた大人のイメージ。シックな色で高級感を。暗
くなりすぎないように注意！



▼ ファッション



女性向けはやわらかく華やかな色、男性は渋めの落ち着いた色がオススメ。



▼ AV・デジモノ



デジモノはビビッドな色でインパクトを。白に合わせるとライトユーザー向け、黒に合わせるとヘビーユーザー向けに。



▼ 家電



家電は生活の中に置かれるもの。落ち着いた色で商品をアピールしましょう。



▼ 美容・コスメ



美容・コスメは主なターゲットが女性です。暗い色やくすんだ色は避けましょう。



▼ ダイエット・健康



ダイエットには燃焼の赤やピンク、オレンジ、健康にはビタミンカラーのオレンジと緑がおすすめです。



▼ 生活雑貨



落ち着いた暮らしには、落ち着いた色を。暗くなりすぎないように注意が必要です。



▼ ホビー・エトセトラ



ホビーは楽しむためのもの。**明るい色**で楽しさを盛り上げましょう。

 #da0431

 #ea8e0f

 #fde300

 #b0007f

 #30b5db

 #009a48

▼ スポーツ・レジャー



スポーツは、**はっきりとした元気のある配色**、レジャーは**グリーン系のアースカラー**が合います。

 #ff9600

 #00A0E9

 #ffffff

 #5d7b4a

 #a48b55

 #a6c419



「この配色を使えば大きく外すことはないから参考に試してね。でも、この配色だけでは万能ではないから、次のページで紹介するサイト、ワンポイントアドバイスのテクニックも使うようにしよう。より良い配色ができるようになるよ！」

☐ 原色大辞典

原色だけでなく、和色、洋色などのカラーチャートも揃っています。

<http://www.colordic.org/>

☐ color scheme designer 3

ひとつの色を選ぶと、色相、明度、彩度に合ったカラーパレットを作ってくれるサイト。

<http://colorschemedesigner.com/>

<ワンポイントアドバイス>

配色に悩んだら、その商品名、商品カテゴリ名で、Google で画像検索をしてみることもおすすめです。画像検索をすると、配色の傾向がつかめます。

☐ Google 画像検索

<http://images.google.co.jp/>